



2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月9日

東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所

コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男

問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第1四半期の連結業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第1四半期	416	△12.6	△150	—	△151	—	△108	—
2025年8月期第1四半期	476	△9.1	△37	—	△39	—	△39	—
(注) 包括利益 2026年8月期第1四半期	△108百万円(-%)		2025年8月期第1四半期		△39百万円(-%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第1四半期	△10.40	—
2025年8月期第1四半期	△3.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第1四半期	2,109	646	30.5
2025年8月期	2,277	708	30.9
(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期	643百万円	2025年8月期	704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)	0.00	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,163	15.5	△294	—	△300	—	△302	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2026年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年8月期 1Q	11,300,000株	2025年8月期	11,300,000株
2026年8月期 1Q	771,144株	2025年8月期	871,144株
2026年8月期 1Q	10,443,141株	2025年8月期 1Q	10,078,856株

※添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、日銀短観において業況判断が改善傾向を示すなど、企業収益や設備投資を中心に緩やかな回復が続きました。一方、海外経済は米国で景気の底堅さが見られたものの、中国経済の減速や欧州における金融引締めの影響などから、不透明な状況が継続しました。

このような情勢の中、当社グループは、強みである占い分野における知見およびデータを新たな事業機会の源泉と位置づけ、占いコンテンツを核としたユーザー体験の深化に取り組むと同時に、ユーザー行動や嗜好等に関するデータの分析・活用によるBtoB向けのマーケティング支援やデータ活用サービスなど周辺領域への事業展開を推進してまいりました。しかしながら、BtoB向けサービスの開発先行投資が生じる中、新規占いコンテンツにおいても制作フローの見直しやシステム開発への投資等が生じたことで、占い事業全体の収益を押し下げ、前年同期を下回る結果となりました。また、システム開発やIR活動強化に向けたコンサルタントの導入による業務委託費用の増加の他、10月に本店オフィスを移転したことに伴い18百万円の費用が生じております。一方、本店オフィスの移転においては、補償金43百万円を特別利益として計上しております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高416百万円(前年同期比12.6%減)、営業損失150百万円(前年同期は営業損失37百万円)、経常損失151百万円(前年同期は経常損失39百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失108百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円)となりました。

なお、新規事業を始めとする各事業におけるシステム投資については、当初予定の開発スケジュールを上回るペースで行われており、第3四半期以降、徐々に収益に寄与すると見込んでおります。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。そのため、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 占い事業

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占い師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。前年同期と比較し、新規コンテンツの制作本数を増加させたものの、当第1四半期連結累計期間においては、制作用システムへの投資が先行し、収益を牽引するコンテンツを欠く状態となったことが、運用コンテンツの収益にも影響いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における占い事業の売上高は387百万円(前年同期比13.6%減)、営業利益は71百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

② データ・テクノロジー事業

データ・テクノロジー事業においては、占い事業において蓄積された嗜好・行動データをはじめとするIP資産を活用したBtoB向けサービス、新規IPサービスの開発・提供を行っております。なお、旧セグメントである「エンタメ・マッチングサービス」に含まれていた「きやらデン」は、当セグメントに属しております。当第1四半期連結累計期間において、BtoB向けサービスは開発への投資が先行していることから、売上高は主に「きやらデン」によるものであります。一方、新規IPサービスとしてYoutube番組「スキピチュ」の配信を開始いたしました。視聴数・登録者数を徐々に徐々に伸ばしておりますが、収益化段階にはないため、制作費が営業利益に影響しております。その他、新規サービスの開発に向けた採用強化等により人件費が増加しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるデータ・テクノロジー事業の売上高は26百万円(前年同期比8.1%増)、営業損失は79百万円(前年同期は営業損失14百万円)となりました。

③ その他

当社グループでは、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当第1四半期連結累計期間における内容といたしましては、韓国コスメEC「CoréelleJAPAN」及びフランチャイジーとして運営するシミュレーションゴルフ店舗「LoungeRange」が含まれております。いずれのサービスも、少数体制により繊細と運営しており、前年同期で損失が縮小しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は2百万円(前年同期比24.6%減)、営業損失4百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第1四半期連結会計期間末において、重要な変更等はございません。

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して167百万円減少し、2,109百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少156百万円及び売掛金の減少17百万円によるものであります。

資産の内訳は、流動資産1,699百万円、有形固定資産79百万円、無形固定資産213百万円、及び投資その他の資産117百万円となっております。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して106百万円減少し、1,462百万円となりました。

これは主に、1年内返済予定の借入金の減少20百万円及び長期借入金の減少42百万円によるものであります。

負債の内訳は、流動負債913百万円、固定負債549百万円となっております。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して61百万円減少し、646百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少108百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想などの将来予測情報については、2025年10月10日の「2025年8月期 決算短信」で公表しました内容、数値から変更はありません。その内容は次のとおりです。

今後については、雇用・所得環境の改善等景気回復への期待が高まる一方、原材料価格の高止り、人手不足の深刻化とこれに伴う人件費の高騰、世界経済においても地政学リスクの高まりや中国等の景気後退が懸念となり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループの属するデジタルコンテンツ業界においても、プラットフォーマー以外は、配信プラットフォームの方針に収益が左右される側面が強く、新規顧客の獲得においてもWeb広告が標準的な広告手法へとなりつつあります。このような中、当社グループでは、2024年8月期における事業精査と選択の結果、リソースの集中を決定した既存事業の収益拡大と既存事業とシナジーの高い新規参入事業の収益化を進めるにあたり、SNS・インフルエンサーマーケティングやChatGPTをはじめとする生成AI等の活用により、生産性・ユーザー体験の向上を図ってまいる所存です。

以上を踏まえ、当社グループが予想する2026年8月期の連結業績数値は次のとおりです。

売上高2,163百万円 営業損失294百万円 経常損失300百万円 親会社株主に帰属する当期純損失302百万円

これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

なお、財務面に関しては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行なう考えであります。

また、現在、中期経営計画（2026年8月期～2028年8月期）について策定中であります。策定次第速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 595, 941	1, 439, 456
売掛金	196, 873	179, 707
仕掛品	7, 936	7, 625
貯蔵品	137	130
その他	59, 999	73, 472
貸倒引当金	△556	△546
流動資産合計	1, 860, 331	1, 699, 847
固定資産		
有形固定資産	36, 008	79, 013
無形固定資産	201, 285	213, 078
投資その他の資産		
敷金及び保証金	94, 162	50, 437
その他	86, 073	67, 495
貸倒引当金	△235	△235
投資その他の資産合計	180, 001	117, 697
固定資産合計	417, 294	409, 789
資産合計	2, 277, 626	2, 109, 636
負債の部		
流動負債		
買掛金	47, 241	42, 800
短期借入金	97, 200	88, 800
1年内返済予定の長期借入金	511, 884	490, 995
未払金	106, 416	229, 052
未払費用	38, 731	40, 972
未払法人税等	4, 425	1, 239
未払消費税等	1, 757	-
株主優待引当金	107, 411	6, 693
その他	62, 538	12, 960
流動負債合計	977, 604	913, 514
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	300, 000	300, 000
長期借入金	292, 021	249, 222
固定負債合計	592, 021	549, 222
負債合計	1, 569, 625	1, 462, 736

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	442,460	448,140
利益剰余金	177,030	68,429
自己株式	△366,835	△324,726
株主資本合計	704,115	643,304
新株予約権	3,886	3,596
純資産合計	708,001	646,900
負債純資産合計	2,277,626	2,109,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)	(単位:千円)
売上高	476,507	416,558	
売上原価	237,476	236,054	
売上総利益	239,031	180,503	
販売費及び一般管理費	276,231	330,977	
営業損失(△)	△37,199	△150,473	
営業外収益			
受取利息	1,166	1,036	
その他	104	1,192	
営業外収益合計	1,271	2,229	
営業外費用			
支払利息	3,281	3,467	
その他	24	261	
営業外費用合計	3,306	3,729	
経常損失(△)	△39,234	△151,973	
特別利益			
移転補償金	–	43,746	
特別利益合計	–	43,746	
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,234	△108,227	
法人税、住民税及び事業税	460	373	
法人税等合計	460	373	
四半期純損失(△)	△39,695	△108,600	
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,695	△108,600	

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
四半期純損失(△)	△39,695	△108,600
その他の包括利益		
四半期包括利益	△39,695	△108,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,695	△108,600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	8,103千円	11,295千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占い事業	データ・テクノロジー事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	449,065	24,125	473,190	3,317	476,507	—	476,507
外部顧客への売上 高	449,065	24,125	473,190	3,317	476,507	—	476,507
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	449,065	24,125	473,190	3,317	476,507	—	476,507
セグメント利益又は セグメント損失(△)	99,545	△14,899	84,646	△8,646	76,000	△113,200	△37,199

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△113,200千円には、各報告セグメントに配分していない
全社費用△113,200千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占い事業	データ・テクノロジー事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	387,974	26,082	414,056	2,501	416,558	—	416,558
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高又は振替高	387,974	26,082	414,056	2,501	416,558	—	416,558
計	387,974	26,082	414,056	2,501	416,558	—	416,558
セグメント利益又はセグメント損失(△)	71,375	△79,818	△8,442	△4,912	△13,355	△137,118	△150,473

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△137,118千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,118千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの強みである占い分野における知見とデータを源泉に、ユーザー行動や嗜好等に関するデータを分析・活用し、BtoB向けのマーケティング支援やデータ活用サービスなどの事業展開を進めていくことに伴い、当社グループ内の管理区分を見直し、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「占い事業」、「エンタメ・マッチングサービス事業」から、「占い事業」、「データ・テクノロジー事業」に変更しております。

「エンタメ・マッチングサービス事業」に含まれていたきやらデン、「その他」に含められていた新規事業の美肌ナビ、BtoB向けデータマーケティング等を集約し、「データ・テクノロジー事業」へと変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。